

学校コード F123310106826
注3

設置年度 令和 5年度
計画の区分： 専門職大学院の設置

認可

注2
藤田医科大学大学院
医学研究科 病院経営学・管理学（専門職大学院）専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正前大学設置基準適用）

学校法人藤田学園
令和5年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	大学事務局 学務部
職名・氏名	課長 本多 有加里
電話番号	0562-93-2898
（夜間）	0562-93-2898
e-mail	med-7@fujita-hu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

医学研究科

＜病院経営学・管理学(専門職大学院)＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人藤田学園

(2) 大学名

藤田医科大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ホシナガ キヨタカ) 星長 清隆 (平成30年10月)		
学長	(ユザワ ユキオ) 湯澤 由紀夫 (令和3年7月)		
研究科長	(イワタ ナカオ) 岩田 仲生 (平成27年6月)		
副研究科長	(スズキ モトシ) 鈴木 元 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医学研究科 病院経営学・ 管理学専攻 （専門職大学院） 病院経営学・管理 学修士（専門職）	医学関係	1.5 年	10 人	2年次 0 人 3年次 人 4年次 人	20 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率（控除後）	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1.60 倍	- 倍	0.80 倍	- 倍	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	42	(-)					
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	39	(-)					
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	16	(-)					
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	16	(-)					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6	-					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	0人	0人	平成30年度	人	人	
令和元年度	0人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	0人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	0人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	0人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	16人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学研究科 病院経営学・管理学専攻（専門職）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎専門科目	リーダーシップ・ガバナンス	1前	1			2		1				
	病院経営戦略論	1前	1			3						
	財務会計論・経営分析・コスト分析	1前	1			1	1					
	診療報酬・施設基準・関連法規	1前	1			1						
	DPC・診療情報分析論	1前		1		1						
	医療情報・電子カルテ	1後	1			2	1					
	医薬品・医療材料管理	1後	2			1						1
	病院設計・施設設備	1後	2			2						1
	医療機能評価・JCI	1前		1		1						
	地域医療・医療マーケティング	1後	1			1		1				
	医療の質管理・患者安全・臨床倫理	1前	2			2						
	医療制度概論(医療法)・保険医療制度	1前	2			3						
	医療産業論	1後	1			1	1					1
小計(13科目)	-	15	2		12	2	2				3	
応用専門科目	病院経営の実際・病院再編統合	2	2			3						1
	実践的に考える組織・人材マネジメント	2	2			1						2
	多視点から考える総合経営	2	2			1						2
	病院経営学・管理学課題研究	1~2通	8			3	1					1
小計(4科目)	-	14			3	1						
合計(17科目)	-	29	2		12	2	2				6	
卒業要件及び履修方法												
修了要件は、必修科目・選択科目を含んで30単位以上を修得すること。												

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎専門科目	リーダーシップ・ガバナンス	1前	1			2		1				
	病院経営戦略論	1前	1			3						
	財務会計論・経営分析・コスト分析	1前	1			1	1					
	診療報酬・施設基準・関連法規	1前	1			1						1
	DPC・診療情報分析論	1前		1		1						1
	医療情報・電子カルテ	1後	1			2	1					
	医薬品・医療材料管理	1後	2			1						1
	病院設計・施設設備	1後	2			2						6
	医療機能評価・JCI	1前		1		1						
	地域医療・医療マーケティング	1後	1			1		1				
	医療の質管理・患者安全・臨床倫理	1前	2			2						
	医療制度概論(医療法)・保険医療制度	1前	2			3						
	医療産業論	1後	1			1	1					1
小計(13科目)	-	15	2		12	2	2				9	
応用専門科目	病院経営の実際・病院再編統合	2	2			3						1
	実践的に考える組織・人材マネジメント	2	2			1						2
	多視点から考える総合経営	2	2			1						2
	病院経営学・管理学課題研究	1~2通	8			3	1					1
小計(4科目)	-	14			3	1					1	
合計(17科目)	-	29	2		12	2	2				12	
卒業要件及び履修方法												
修了要件は、必修科目・選択科目を含んで30単位以上を修得すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・ 兼任教員の採用により、「診療報酬・施設基準・関連法規」の兼任教員等の配置を「0」から「1」に変更。
- ・ 兼任教員の採用により、「DPC・診療情報分析論」の兼任教員等の配置を「0」から「1」に変更。
- ・ 兼任教員の採用により、「病院設計・施設設備」の兼任教員等の配置を「1」から「6」に変更。
- ・ 兼任教員の採用により、「病院経営学・管理学課題研究」の兼任教員等の配置を「0」から「1」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
15 科目	2 科目	0 科目	17 科目	15 科目 [0]	2 科目 [0]	0 科目 [0]	17 科目 [0]	変更なし。

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{17} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	【借地(借用地)】 豊明校地：17,202.82㎡(30年) 中川校地：5,471.39㎡(30年) 七栗校地：5,792.18㎡(3年) 岡崎校地：29,717.19㎡(10年)		
	校舎敷地	237,929.20 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	237,929.20 ㎡			
	運動場用地	46,351.00 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	46,351.00 ㎡			
	小 計	284,280.20 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	284,280.20 ㎡			
	そ の 他	165,771.93㎡ 157,300.31㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	165,771.93㎡ 157,300.31㎡			
	合 計	450,052.13㎡ 441,580.51㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	450,052.13㎡ 441,580.51㎡			
(2) 校舎	専 用	115,623.74㎡ 112,708.70㎡ (115,623.74㎡) (112,708.70㎡)	共 用 0㎡ (0 ㎡)	共用する他の学校等の専用 0㎡ (0 ㎡)	計 115,623.74㎡ 112,708.70㎡ (115,623.74㎡) (112,708.70㎡)			
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
(3) 教室等	72 室	64 室	128 室	3 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	医学研究科 病院経営学・管理学専攻			12 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	「研究科単位での特定 不能なため、大学全体の 数」
	病院経営学・管理学 専攻(専門職)	153,595 [70,584] 170,551 [77,527] (153,595 [70,584]) (170,551 [77,527])	3,510 [1,731] 3,553 [1,881] (3,510 [1,731]) (3,553 [1,881])	3,279 [1,725] 3,299 [1,875] (3,279 [1,725]) (3,299 [1,875])	3,587 2,212 (3,587) (-2,212)	8,545 17,009 (8,545) (17,009)	15 29 (15) (29)	
	計	153,595 [70,584] 170,551 [77,527] (153,595 [70,584]) (170,551 [77,527])	3,510 [1,731] 3,553 [1,881] (3,510 [1,731]) (3,553 [1,881])	3,279 [1,725] 3,299 [1,875] (3,279 [1,725]) (3,299 [1,875])	3,587 2,212 (3,587) (-2,212)	8,545 17,009 (8,545) (17,009)	15 29 (15) (29)	
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	2,626.1 ㎡ 3,364.49 ㎡		282 298		167,225冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	3,341.71㎡		弓道場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	249千円	249千円	図書購入費	157,886千円	157,886千円	157,886千円
		共同研究費等	55,897千円	55,897千円	設備購入費	228,956千円	228,956千円	228,956千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		900千円	750千円	-千円	-千円	-千円	-千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		経常的経費については、学生納付金以外に法人本部からの繰入金						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	藤田医科大学大学院										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	2	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
医学研究科	-	67	-	238														
医科学専攻	2	5	-	10	修士(医科学)	0.70	-	0.70	-	-	令和2	愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98						
病院経営学・管理学専攻	1.5	10	-	20	病院経営学・管理学修士(専門職)	1.60	-	0.80	-	-	令和5	同上						
医学専攻	4	52	-	208	博士(医学)	0.79	-	0.78	-	-	平成30	同上						
保健学研究科	-	58	-	124														
保健学専攻	2	50	-	100	修士(保健学) 修士(看護学)	1.07	-	1.12	-	-	平成13	同上						
医療科学専攻	3	8	-	24	博士(医療科学)	1.66	-	1.87	-	-	平成27	同上	令和6年度募集停止					
大学院全体	-	125	-	362	-	-	-	-	-	-	-	-						

大学の名称	藤田医科大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
医学部	6	120	-	720	-	1.00	-	1.03	-	-	昭和47	愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98						
医学科	6	120	-	720	学士(医学)	1.00	-	1.02	-	令和4	昭和47	同上						
医療科学部						1.04	-	0.98	-			愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98						
医療検査学科	4	140	-	560	学士(医療検査科学)	1.04	-	0.97	-	-	平成31	同上						
放射線学科	4	90	-	360	学士(放射線科学)	1.03	-	1.00	-	-	昭和62	同上						
保健衛生学部	4	250	-	1,000				1.02	-			愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98						
看護学科	4	135	-	540	学士(看護学)	1.05	-	1.04	-	-	平成31	同上						
リハビリテーション学科	4	115	-	460				1.00	-									
理学療法専攻	4	70	-	280	学士(理学療法学)	1.05	-	0.97	-	-	平成31	同上						
作業療法専攻	4	45	-	180	学士(作業療法学)	1.04	-	1.03	-	-	平成31	同上						
大学全体	-	600	-	2,640	-	-	-	-	-	-	-	-						

大学の名称											平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数		平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数		収容定員充足率0.7倍以下の学科数		収容定員充足率1.15倍以上の学科数	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍		倍	倍	年度	年度							

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医学研究科 病院経営学・管理学専攻（専門職）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小松本 悟 <令和5年4月> 修士(医療管理学) 医学博士
		リーダーシップ・ガバナンス 財務会計論・経営分析・コスト分析 診療報酬・施設基準・関連法規 病院設計・施設設備 医療機能評価・JCI 病院経営学・管理学課題研究
専	教授	三浦 公嗣 <令和5年4月> 公衆衛生学修士 (Master of Public Health) 米国 博士(医学)
		医療制度概論(医療法)・保険医療 制度 病院経営学・管理学課題研究
専	教授	佐藤 大介 <令和5年4月> 修士(医療政策学) 博士(医学)
		DPC・診療情報分析論 病院設計・施設設備 医療制度概論(医療法)・保険医療制度 病院経営の実際・病院再編統合 病院経営学・管理学課題研究
専他	教授	飯島 祥彦 <令和5年4月> 博士(医学) 博士(法学) 法務博士(専門職)
		医療情報・電子カルテ 医療の質管理・患者安全・倫理
専他	教授	飯塚 勝美 <令和5年4月> 医学博士
		病院経営戦略論
専他	教授	亀井 哲也 <令和5年4月> 医学博士
		医療情報・電子カルテ
専他	講師	藤江 里衣子 <令和5年4月> 修士(臨床心理学)
		リーダーシップ・ガバナンス
専他	講師	松永 眞章 <令和5年4月> 博士(医学)
		地域医療・医療マーケティング

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小松本 悟 <令和5年4月> 修士(医療管理学) 医学博士
		リーダーシップ・ガバナンス 財務会計論・経営分析・コスト分析 診療報酬・施設基準・関連法規 病院設計・施設設備 医療機能評価・JCI 病院経営学・管理学課題研究
専	教授	三浦 公嗣 <令和5年4月> 公衆衛生学修士 (Master of Public Health) 米国 博士(医学)
		医療制度概論(医療法)・保険医療 制度 病院経営学・管理学課題研究
専	教授	佐藤 大介 <令和5年4月> 修士(医療政策学) 博士(医学)
		DPC・診療情報分析論 病院設計・施設設備 医療制度概論(医療法)・保険医療制度 病院経営の実際・病院再編統合 病院経営学・管理学課題研究
専他	教授	飯島 祥彦 <令和5年4月> 博士(医学) 博士(法学) 法務博士(専門職)
		医療情報・電子カルテ 医療の質管理・患者安全・倫理
専他	教授	飯塚 勝美 <令和5年4月> 医学博士
		病院経営戦略論
専他	教授	亀井 哲也 <令和5年4月> 医学博士
		医療情報・電子カルテ
専他	講師	藤江 里衣子 <令和5年4月> 修士(臨床心理学)
		リーダーシップ・ガバナンス
専他	講師	松永 眞章 <令和5年4月> 博士(医学)
		地域医療・医療マーケティング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実専	教授	安田 あゆ子 <令和5年4月> 博士(医学)
		医療の質管理・患者安全・倫理
実専	教授	山田 成樹 <令和5年4月> 博士(医学)
		医薬品・医療材料管理
実専	教授	青木 昇 <令和5年4月> 工学士
		病院経営の実際・病院再編統合
実専	准教授	村川 修一 <令和5年4月> 経営学修士
		医療産業論
実み	教授	渋谷 明隆 <令和5年4月> 医学博士 経営学修士
		リーダーシップ・ガバナンス 病院経営戦略論 病院経営の実際・病院再編統合
実み	教授	真野 俊樹 <令和5年4月> 医学博士 博士(経済学)
		地域医療・医療マーケティング 医療制度概論(医療法)・保険医療 制度 医療産業論
実み	教授	斐 英洙 <令和5年4月> 博士(医学) 経営学修士
		病院経営戦略論 実践的に考える組織・人材マネジメント 多視点から考える総合経営
実み	准教授	平木 秀輔 <令和5年4月> Master of Business Administration(米国) 博士(医学)
		財務会計論・経営分析・コスト分析 医療情報・電子カルテ 病院経営学・管理学課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実専	教授	安田 あゆ子 <令和5年4月> 博士(医学)
		医療の質管理・患者安全・倫理
実専	教授	山田 成樹 <令和5年4月> 博士(医学)
		医薬品・医療材料管理
実専	教授	青木 昇 <令和5年4月> 工学士
		病院経営の実際・病院再編統合
実専	准教授	村川 修一 <令和5年4月> 経営学修士
		医療産業論
実み	教授	渋谷 明隆 <令和5年4月> 医学博士 経営学修士
		リーダーシップ・ガバナンス 病院経営戦略論 病院経営の実際・病院再編統合
実み	教授	真野 俊樹 <令和5年4月> 医学博士 博士(経済学)
		地域医療・医療マーケティング 医療制度概論(医療法)・保険医療 制度 医療産業論
実み	教授	斐 英洙 <令和5年4月> 博士(医学) 経営学修士
		病院経営戦略論 実践的に考える組織・人材マネジメント 多視点から考える総合経営
実み	准教授	平木 秀輔 <令和5年4月> Master of Business Administration(米国) 博士(医学)
		財務会計論・経営分析・コスト分析 医療情報・電子カルテ 病院経営学・管理学課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	武居 哲洋 <令和5年4月> 修士(医療政策学) 医学博士
		病院経営の実際・病院再編統合
兼任	教授	仁賀 建夫 <令和5年4月> 博士(医学)
		医療産業論
兼任	教授	本田 孝子 <令和5年4月> 学士(工学)
		病院設計・施設設備
兼任	教授	高橋 弘充 <令和5年4月> 修士(医療管理学)
		医薬品・医療材料管理
兼任	講師	緒方 大輔 <令和5年4月> 学士(医学)
		実践的に考える組織・人材マネジメント 多視点から考える総合経営
兼任	講師	栗田 かほる <令和5年4月> 修士(経営学) 学士(看護学)
		実践的に考える組織・人材マネジメント 多視点から考える総合経営

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	武居 哲洋 <令和5年4月> 修士(医療政策学) 医学博士
		病院経営の実際・病院再編統合
兼任	教授	仁賀 建夫 <令和5年4月> 博士(医学)
		医療産業論
兼任	教授	本田 孝子 <令和5年4月> 学士(工学)
		病院設計・施設設備
兼任	教授	高橋 弘充 <令和5年4月> 修士(医療管理学)
		医薬品・医療材料管理
兼任	准教授	長面川さより <令和5年4月>
		診療報酬・施設基準・関連法規 DPC・診療情報分析論
兼任	講師	緒方 大輔 <令和5年4月> 学士(医学)
		実践的に考える組織・人材マネジメント 多視点から考える総合経営
兼任	講師	栗田 かほる <令和5年4月> 修士(経営学) 学士(看護学)
		実践的に考える組織・人材マネジメント 多視点から考える総合経営
兼任	講師	伊藤 昭 <令和5年4月> 修士(工学) 博士(医学)
		病院設計・施設設備

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大守 昌利 <令和5年4月> 修士(工学) 病院設計・施設設備
兼任	講師	橋高 宗平 <令和5年4月> 修士(工学) 病院設計・施設設備
兼任	講師	塚見 史郎 <令和5年4月> 修士(工学) 病院設計・施設設備
兼任	講師	中村 俊一 <令和5年4月> 修士(工学) 病院設計・施設設備

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の授業科目名を記入するとともに、下段に変更]

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

・ 令和5年4月【就任】
兼任：長面川さゆり准教授、伊藤 昭講師、大守 昌利講師、橋高 宗平講師、塚見 史郎講師、中村 俊一講師

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要教 授数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要実 務家教員数
15 名	6 名	5 名

(注) ・ 専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成十五年三月三十一日文部科学省告示第五十三号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【専門職大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
12	2	2	0	16	0	12	2	2	0	16	0
(12)	(2)	(2)	(0)	(16)	(0)						
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当 の教員数	研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当 の教員数				
8	4	4	0	8	4	4	0				
(8)	(4)	(4)	(0)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
12	2	2	0	16	0	12	2	2	0	16	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当 の教員数	研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当 の教員数				
8	4	4	0	8	4	4	0				
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]				

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
63 歳	3 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C)}}{\text{設置時の計画 (A)}} = \frac{16}{16} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況 (B)}} = \frac{3}{16} = \boxed{18.75} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C')}}{\text{設置時の計画 (A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし						
合計（D）					後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし						
合計（F）					後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等		履行状況		今後の実施計画
認可時 (令和5年)	<p>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的、さらに理論と実務を架橋して高度専門職業人の養成に特化した教育を実施するという専門職大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	【認可】 遵守事項	設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行中である。	履行中	設置の趣旨・目的等が活かされるよう、充実した教育研究活動を行い、教育水準を一層向上させるよう努める。
認可時 (令和5年)	<p>・教育課程連携協議会の適切な運用等により、養成する人材像やディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー等に基づき、時宜に応じた教育課程が、将来にわたって持続的かつ効果的に編成されるとともに、その教育水準を一層向上させるよう努めること。</p>	【認可】 遵守事項	教育課程連携協議会の適切な運用等について協議中であり、教育水準を一層向上させるよう努めている。	履行中	教育課程連携協議会の適切な運用等について協議し、教育水準を一層向上させるよう努める。
認可時 (令和5年)	<p>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見1への対応において、本専攻の養成する人材に掲げる「病院経営のための…高度の専門職人材」に示す「病院」について、想定する規模等を「原則200床以上の地域医療支援病院」や「高度急性期機能を有する特定機能病院」と説明しているが、これらの急性期医療を担う病院は全国的にも数が限られており、本専攻へ入学することが想定される人材は、一部の医療専門職業人に限られるものと見受けられる。このため、本専攻の継続性の観点からも、学生の受入れに当たっては、地域医療支援病院や特定機能病院以外の病院に従事し又は従事することを想定する者であっても、「地域を支えるリーダー」として本専攻がディプロマ・ポリシーに掲げる能力の修得を希望する者が幅広く本学において学ぶことができるよう考慮するとともに、様々な背景を持つ学生に対応することができる授業科目の充実等に努めることが望ましい。</p>	【認可】 助言事項	「地域を支えるリーダー」として本専攻がディプロマ・ポリシーに掲げる能力の修得を希望する者が幅広く本学において学ぶことができるよう考慮するとともに、様々な背景を持つ学生に対応することができる授業科目の充実に努める。	履行中	「地域を支えるリーダー」として本専攻がディプロマ・ポリシーに掲げる能力の修得を希望する者が幅広く本学において学ぶことができるよう考慮するとともに、様々な背景を持つ学生に対応することができる授業科目の充実に努める。

<p>認可時 (令和5年)</p>	<p>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見8への対応において、本専攻の出願資格について、「下記の項目をすべて満たす者」の記載を削除した上で、「地域において中核的な役割を担う病院や地域を支える病院の医療専門職業等に就いており、病院経営・管理に関する高度の専門的知識や実務能力の修得を志す者」を追加し、医師のみならず、より多彩な人材を想定した者に変更されたものと見受けられるが、出願資格に示された1)～5)の各項目について、いずれかを満たす必要があるとして設定されているものと推察されるものの、その要件が明記されていないことから、学生募集や入学者選抜においては、本専攻に出願するための要件について、入学希望者に対し明確に示すこと。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>出願資格に示された各項目について、いずれかを満たす必要があるとして要件を明確にし、学生募集要項および募集パンフレット掲載文言を検討した。</p>	<p>履行中</p>	<p>出願資格に示された各項目について、いずれかを満たす必要があるとして要件を明確にし、学生募集要項および募集パンフレットに掲載する。</p>
<p>認可時 (令和5年)</p>	<p>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見9への対応において、本専攻が掲げるアドミッション・ポリシーが改められたが、修正後の各アドミッション・ポリシーには、「（医療専門職としての能力）」など、括弧書きで入学者に求める能力と見受けられる内容が付記されている。しかしながら、括弧書きの記載と、策定されたアドミッション・ポリシー自体との関連が不明確であることから、入学志願者等が、本専攻が入学者として求める人材を明確に理解できるよう、括弧書きを用いるのではなく、括弧書きの内容も含めたアドミッション・ポリシーとして策定し、明示すること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>【アドミッション・ポリシー】 括弧書きを用いず、括弧書きの内容を含めたアドミッション・ポリシーを制定した。 1. 課程を修了するための十分な医学知識および実務経験を有している 2. 病院において指導者として活躍する情熱のある人 3. 誠実で協調性に優れ、責任感と倫理性を有し、業務を遂行できる人 4. 医療現場で生じる様々な問題の解決に向けて、自ら研究課題に取り組む目的意識のある人</p>	<p>履行済</p>	
<p>認可時 (令和5年)</p>	<p>・専任教員資格審査の結果により、教員の補充が必要とされた授業科目については、確実に教員を充足させること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>専任教員の補充が必要とされた授業科目「病院経営学・管理学課題研究」について、2022年12月のAC教員審査を受審する計画を立てた。</p>	<p>履行中</p>	<p>2022年12月のAC教員審査を受審する。</p>
<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和5年度)</p>	<p>・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的、さらに理論と実務を架橋して高度専門職業人の養成に特化した教育を実施するという専門職大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行中である。</p>	<p>履行中</p>	<p>設置の趣旨・目的等が生かされるよう、充実した教育研究活動を行い、教育水準を一層向上させるよう努める。</p>

<p>設置計画履行状況</p> <p>調査結果</p> <p>(令和5年度)</p>	<p>・教育課程連携協議会の適切な運用等により、養成する人材像やディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー等に基づき、時宜に応じた教育課程が、将来にわたって持続的かつ効果的に編成されるとともに、その教育水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>【認可】 遵守事項</p>	<p>教育課程連携協議会の適切な運用等について協議中であり、教育水準を一層向上させるよう努めている。</p>	<p>履行中</p>	<p>教育課程連携協議会の適切な運用等について協議し、教育水準を一層向上させるよう努める。</p>
<p>設置計画履行状況</p> <p>調査結果</p> <p>(令和5年度)</p>	<p>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見1への対応において、本専攻の養成する人材に掲げる「病院経営のための…高度の専門職人材」に示す「病院」について、想定する規模等を「原則200床以上の地域医療支援病院」や「高度急性期機能を有する特定機能病院」と説明しているが、これらの急性期医療を担う病院は全国的にも数が限られており、本専攻へ入学することが想定される人材は、一部の医療専門職業人に限られるものと見受けられる。このため、本専攻の継続性の観点からも、学生の受入れに当たっては、地域医療支援病院や特定機能病院以外の病院に従事し又は従事することを想定する者であっても、「地域を支えるリーダー」として本専攻がディプロマ・ポリシーに掲げる能力の修得を希望する者が幅広く本学において学ぶことができるよう考慮するとともに、様々な背景を持つ学生に対応することができる授業科目の充実等を通じて、カリキュラムの改善に努めることが望ましい。</p> <p>【認可】 助言事項</p>	<p>「地域を支えるリーダー」として本専攻がディプロマ・ポリシーに掲げる能力の修得を希望する者が幅広く本学において学ぶことができるよう考慮するとともに、様々な背景を持つ学生に対応することができる授業科目の充実に努める。</p>	<p>履行中</p>	<p>「地域を支えるリーダー」として本専攻がディプロマ・ポリシーに掲げる能力の修得を希望する者が幅広く本学において学ぶことができるよう考慮するとともに、様々な背景を持つ学生に対応することができる授業科目の充実に努める。</p>
<p>設置計画履行状況</p> <p>調査結果</p> <p>(令和5年度)</p>	<p>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見8への対応において、本専攻の出願資格について、「下記の項目をすべて満たす者」の記載を削除した上で、「地域において中核的な役割を担う病院や地域を支える病院の医療専門職業等に就いており、病院経営・管理に関する高度の専門的知識や実務能力の修得を志す者」を追加し、医師のみならず、より多彩な人材を想定した者に変更されたものと見受けられるが、出願資格に示された1)～5)の各項目について、いずれかを満たす必要があるとして設定されているものと推察されるものの、その要件が明記されていないことから、学生募集や入学者選抜においては、本専攻に出願するための要件について、入学希望者に対し明確に示すこと。</p> <p>【認可】 遵守事項</p>	<p>学生募集要項および募集パンフレットにおいて、出願資格に示された各項目について、いずれかを満たす必要があるとして要件を明確に示し対応した。</p>	<p>履行済</p>	

設置計画履行状況 調査結果 (令和5年度)	<p>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見9への対応において、本専攻が掲げるアドミッション・ポリシーが改められたが、修正後の各アドミッション・ポリシーには、「（医療専門職としての能力）」など、括弧書きで入学者に求める能力と見受けられる内容が付記されている。しかしながら、括弧書きの記載と、策定されたアドミッション・ポリシー自体との関連が不明確であることから、入学志願者等が、本専攻が入学者として求める人材を明確に理解できるよう、括弧書きを用いるのではなく、括弧書きの内容も含めたアドミッション・ポリシーとして策定し、明示すること。</p>	【認可】 遵守事項	<p>【アドミッション・ポリシー】 括弧書きを用いず、括弧書きの内容を含めたアドミッション・ポリシーを制定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課程を修了するための十分な医学知識および実務経験を有している 2. 病院において指導者として活躍する情熱のある人 3. 誠実で協調性に優れ、責任感と倫理性を有し、業務を遂行できる人 4. 医療現場で生じる様々な問題の解決に向けて、自ら研究課題に取り組む目的意識のある人 	履行済
設置計画履行状況 調査結果 (令和5年度)	<p>・専任教員資格審査の結果により、教員の補充が必要とされた授業科目については、確実に教員を充足させること。</p>	【認可】 遵守事項	<p>2022年12月のAC教員審査を受審し、専任教員の補充が必要とされた授業科目「病院経営学・管理学課題研究」について改めてP可の判定を受けた。</p>	履行済

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）（5）」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医学研究科 病院経営学・管理学専攻（専門職）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

(1) 藤田医科大学全学教学運営委員会

本委員会は、藤田医科大学が学長のリーダーシップの下、教育・研究・社会貢献等の機能を最大限に高めることを目的として設置する。また、内部質保証の推進に責任を負う組織として、教育課程の編成に関する全学的な方針を策定し、自己点検・評価の結果等に基づいて教育プログラムの成果を検証し、改革サイクルを確立する役割を担う。

(2) 藤田医科大学FD・SD委員会

本委員会は、各学部・各研究科における授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修および研究を行うこと、及び本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るために、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設けることを目的とする。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

(1) 藤田医科大学全学教学運営委員会

（構成）

学長、副学長、学長補佐、各学部長、各教育病院長、研究推進本部長、各学部教務委員長、大学事務局長、大学事務局研究支援部長及び他学長が必要と認める教職員

（開催状況）

原則として毎月1回開催する。ただし、必要があるときは適時開催する。

(2) 藤田医科大学FD・SD委員会

（構成）

学長補佐（教育担当）、各学部、各研究科より選出された教員、アセンブリ教育センター、研究推進本部より選出された教員又は職員、大学病院、ばんだね病院、七栗記念病院、岡崎医療センター、法人本部、大学事務局より選出された職員

（開催状況）

原則として毎月1回開催する。ただし、必要に応じて電子メール等による持回りにより開催する。

（その他）

- ・ 本委員会の協議事項は、学長に報告し、全学教学運営委員会の承認を得なければならない。
- ・ 本委員会は、必要に応じて小委員会を設置し、協議及び活動させることができる。

c 委員会の審議事項等

(1) 藤田医科大学全学教学運営委員会

・教育に関する事項

ア 卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針及び入学者受け入れの方針の一体的な策定に関する事項

イ 教育課程の編成に関する事項

ウ 教育内容及び方法の改善に関する事項

エ 学修成果の評価に関する事項

・内部質保証に関する事項 等

(2) 藤田医科大学FD・SD委員会

ア FD又はSDの実施方針策定に関する事項

イ FD又はSDの年間実施計画立案に関する事項

ウ FD又はSDの企画及び実施、若しくは実施の把握に関する事項

エ FD又はSDの成果及び報告に関する事項

オ FD又はSDの参加者の把握に関する事項

カ FD又はSDに関する情報収集と啓発活動に関する事項

キ その他委員会が必要と認めた事項に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

・大学院FD研修会の企画・実施

b 実施方法

・小委員会を設置しFD研修会の実施、参加者把握、成果・結果の報告を行う

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・FD研修会は年2回開催予定

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・実施結果の分析を行い改善に努める

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・原則、年度末に実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

・学生評価の結果を教員に報告する

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

- ・ 藤田医科大学専門職大学院教育課程連携協議会

本専門職大学院は、専門職大学院設置基準（平成15年文部科学省令第16号）第6条の2に基づき、産業界等との連携により、教育課程を編成し、及び円滑かつ効果的に実施することを目的として、協議会を設置する。

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

（構成）

- ・ 研究科長が指名する、本専門職大学院に所属する教職員
- ・ 本専門職大学院の専攻に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動するものの関係者であって、当該職業の実務に関し豊富な経験を有する者
- ・ 地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者
- ・ 学校法人藤田学園の教職員以外の者であって、医学研究科長が必要と認めるもの

（開催状況）

- ・ 春学期及び秋学期に各1回開催する。ただし、議長が必要と認めたときは、適宜開催することができる。

c 委員会の審議事項等

- ・ 産業界等との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項
- ・ 産業界等との連携による授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

d その他

特になし

② 審議状況

a 審議した内容

- ・ 産業界等との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する事項（予定）
- ・ 産業界等との連携による授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項（予定）

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

令和6年1月、教育課程の検討を予定

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

令和6年4月以降を予定

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

病院経営学・病院管理学・医療政策学・医学の知見と国際社会に通用する思考力に基づく、健全な病院経営の実現のために、病院経営に関する病院経営学、病院管理学、医療政策学に関する高度専門知識の基盤を固め、健全な病院経営のための課題発見および分析能力ならびに実践能力を有する高度の専門職人材を育成している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和6年11月（予定）公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和9年に評価機関（特定非営利活動法人 iSPH）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。